

【岩手県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
盛岡市	新聞、テレビ、雑誌、フリーペーパー等の媒体による広報。チラシを作成し、市の施設、ATMでの配布。町内会会合、出前講座を通じた広報。	盛岡広域8市町村が連携し合同相談会を開催。自殺対策との連携。司法書士相談会を新規に週1回開催。	相談員のマンパワーの不足、労働環境の整備。多重債務者の更なる掘り起こしの方策。ヤミ金完全撲滅へ向けた取り組み強化。
宮古市	なし	庁内連携強化及び啓発周知	問題解決後の生活支援(資金)対策 就業支援対策
大船渡市	-	・主に、毎月開催される「消費者救済融資相談会(岩手県消費者信用生活協同組合主催)」を相談窓口として紹介している。	対応する職員体制について、他の業務との兼務のため、解決までの係わりが困難な状況である。相談に対応する職員等の資質向上のため、弁護士等の相談への同席研修等、研修の機会を増やしてほしい。
花巻市	なし	岩手県消費者信用生活協同組合との連携、 花巻市役所内での福祉担当や税込納担当等との連携	なし
北上市	ホームページ、出前講座で周知	なし	なし
久慈市	なし	本年3月に支援プランを策定した。その取組を広げていきたい。	プランに基づき、庁内関係課との連携や職員の研修等取り組みたい。当 地域は弁護士不在であることから、市民が法的な相談をする際は、限られ た時間の中での無料法律相談を利用するか、市外へ出向かなければなら ない状況にある。
奥州市	なし	消費生活相談員を1名増員して巡回相談の機会を増設した。	相談員の研修会及び自主勉強会参加の十分な財源の確保が課題であ る。
雫石町	多重債務問題の解決方法等について広報に掲載した。 http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/kouhou/20080210/0203.pdf http://www.town.shizukuishi.iwate.jp/kouhou/20080210/0405.pdf	岩手県信用生協の協力を得て、町単独で相談会を開催した。庁内では納 税・福祉担当との連携ができたので、さらに連携強化に努めたい。盛岡広 域での合同相談会や研修など、先進的な取組みをしている盛岡市等との 連携により、職員のスキルアップができた。	専門知識を持つ職員がいない上に、他業務との兼務であり、相談や弁護 士相談同行などで時間を削られているため、その他の業務が圧迫されて いる。
葛巻町	なし	なし	悪質業者の厳罰化等の強化
岩手町	従来の消費者相談(月1回)の回覧周知の中に多重債務問題を加えて周 知した。	盛岡広域8市町村の連携で概ね月1回で多債債務に関する勉強会を実施	同じ町村の窓口では相談しづらい面があるので、3町村くらいを対象とした 相談会を開催できればよい。(20年度は盛岡広域で取り組みを予定)
滝沢村	チラシ全戸回覧による広報	盛岡広域市町村による連携活動(悪質商法に負けない!盛岡広域チーム	様々な案件に対する相談対応に関して、力不足を感じる。

【岩手県】

市町村名	Q9	Q10	Q11
紫波町	なし	年に4回、町主催で岩手県信用生活協同組合に相談員をお願いして、相談会を開催している。件数については1回あたり、2.3名である。	潜在している多重債務者が、一人でも多く相談に来てくれるにはどうしたらいいか。また、財政の問題から専従相談員の確保が難しく、兼務での相談体制である。
矢巾町	なし	盛岡広域消費者行政情報交換会で悪質商法に負けない盛岡広域チームを結成し、合同相談会の開催など、広域で連携して多重債務の相談に対応した。	なし
金ヶ崎町	なし	なし	市町村職員では専門的知識が低いため、具体的な対応は行えない。振興局等の相談窓口、相談日程等を紹介しているので、今後も専門家のいる相談会等を開催して欲しい。
住田町	なし	なし	関係機関及び役場内部の連携を深め体制を強化する必要がある
山田町	なし	月2回の司法書士との無料相談会の実施	なし
川井村	初任の担当者ですが、相談者は1件もありませんでした。(このあと3週間の間もないと思われます。)	宮古市との合併により、本業務を充実させ、住民の負託に答えるしか方法がない。まったく言うほど担当係がない状況である。また専門性も必要とおもわれるので少し期間をお願いしたい。	左記ののためか、また小村のため相談に来づらい面もあるせいか相談者が来ない。(地域性なのか、様子が知られるのがいやではないかと思いません。)
洋野町	なし	洋野町多重債務者対策連絡会議を設置し、多重債務解決に向けて、庁内関係課と連携を強化した。	管内に弁護士がおらず、実際の解決機関へ誘導する場合は二戸市まで赴くことになるため不便である。また、各相談会が主に久慈市で開催されるため、各市町村でも開催して欲しい。